

2022年11月2日

洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会
会長 下道 英明 様

日本ジオパーク委員会
委員長 中田 節也



第46回日本ジオパーク委員会審査事前確認結果通知書

2022年9月28日に行われた第46回日本ジオパーク委員会において確認された貴地域に関する課題等をまとめて、ここに通知します。

【総評】

貴地域は、事務局スタッフや火山マイスターの献身的な取り組みにより、10年以上にわたって積極的に地域にUGGpの理念を普及啓発してきた。優れたデザイン性を持つ媒体を用いた高い可視性が、「洞爺湖有珠山ジオパークブランド」を地域に定着させ、自発的にジオパーク活動に参加したいという住民や企業が増加している。多岐にわたる教育プログラムも、学術関係者がその品質を保証しており、正しい学術情報が地域内外の子どもたちに伝わっている。地域内のアイヌ民族の関連団体や、世界文化遺産を所管する部局とジオパーク協議会事務局との関係も良好で、情報発信やイベント共催、さらには人材育成の面で実質的な連携が行われている。地域内のネットワークはもちろん、国内、世界的なネットワーク活動にも積極的に参加し、特に火山防災・減災に関する活動はユネスコ世界ジオパークの中でも高い評価を得ている。

ユネスコの再審査に当たっては、貴地域の国際的な地質学的価値をさらにアピールすることや、「防災・減災」という価値観に基づいて構築された独自の「持続可能な開発ポリシー」を整理して伝える必要があると思われる。また先住民族の活動の関わりを、将来的に協議会の「マスタープラン」の中に明記するとよい。さらには、現在の優れた活動を維持するために、前回のユネスコ審査時に比べて減員となっている協議会事務局のスタッフの増員についても、前向きに検討してほしい。

【優れている点】

- ・ 優れたデザインの看板、ポスター、展示品などによる高いビジュアルリティ
- ・ 数多くの優れた教育プログラムや冊子類の存在
- ・ 防災事業を中心とした質の高い教育プログラム
- ・ その教育プログラムを地域内外の若い世代に提供する火山マイスターの活動
- ・ 環境省と連携した地質遺産の保全のしくみづくりや新しい散策路の設置
- ・ 世界文化遺産の関連部局とジオパーク推進協議会との実質的な連携
- ・ アイヌ民族の関連団体と連携した、アイヌ文化の価値の発信
- ・ 事務局スタッフと地域住民との間の持続可能な方法での信頼関係づくり
- ・ 国内外および地域内におけるネットワーク活動への貢献

【改善すべき点】

1. 洞爺湖有珠山ユネスコ世界ジオパークの国際的な地質学的価値のアピール

プログレスレポートで、洞爺湖有珠山 UGGp の国際的な地質学的価値をもう少しアピールしたほうが良い。また有史における有珠火山の噴火経緯をもう少し丁寧に記述することにより、場所によって植生遷移のレベルが異なることや、火山噴火予知に成功してきた実績とその背景をユネスコの現地審査員に効果的に伝えることができるであろう。

2. 協議会の「マスタープラン」および「持続可能な開発ポリシー」の解説

プログレスレポートの中に「洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会 マスタープラン 2019-2028」が策定された背景を記述するとよい。なぜなら、このマスタープランと、それを実現するための指針である「持続可能な開発ポリシー」の根幹には、火山災害と向き合ってきた「減災文化」という地域独自の価値観があると推測されるためである。

3. マスタープランの中における先住民族の活動の位置づけ

現在の「洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会 マスタープラン 2019-2028」の中には、アイヌ民族を含めた先住民族の取り組みに関する記載がない。次期のマスタープランには、先住民族の活動の位置づけがジオパーク活動の中に明記できるよう、関係団体とさらなる関係強化を進めてほしい。

4. JICA 研修の継続的な実施についての記載

プログレスレポートには、JICA 研修（中南米地域火山防災能力強化）の継続的な受け入れと実施について詳しく記載し、その研修をきっかけに、1985 年の火山泥流災害で大きな被害を受けた Nevado del Ruiz 地域で、コロンビア共和国で初の UGGp 認定をめざす活動が始まった、というエピソードを記述するとともに、現地審査の際にその背景をアピールするとよい。

5. 事務局スタッフの増員の検討

前回のユネスコ再審査の時点では、事務局に 5 名の専任職員がいたが、現在は専任職員が 3 名、兼任職員が 1 名という状況となっている。事務局の職員の現状についてはユネスコの再審査の際に指摘を受ける可能性が高いため、事務局職員の増員の可能性を前向きに検討してほしい。

以上で指摘した点や現地調査で指摘された改善点を踏まえ、来年のユネスコ審査の準備を進めてください。また、ユネスコに提出する書類を 12 月初旬に日本ジオパーク委員会に提出してください。

以上